

日本経済新聞社石鍋仁美編集委員兼論説委員資料

市場化テストについて

基本的に、「コスト削減」だけでなく「知恵やアイデアの競争」を目指すべき

< 1 > 施設運営

【参考例】

- ・ 新江ノ島水族館（P F I 形式）「夜中に水槽前で宿泊」
- ・ 英国大使館（東京） 企業が発表会場に
- ・ 米国の博物館（NY） 有名企業がパーティー会場に

【候補例】

- ・ 国立新美術館（六本木） 現在入場は5時半まで。近所の森美術館は夜 8 時台がピーク。サントリー美術館は5時台から7時台に閉館時間延長。
- ・ 空港 人の配置に工夫の余地？ 出国審査をもっと簡略化して入国を増やしては？ バンコクなどの空港は演出が楽しく便利。海外企業に運営してもらったら？
- ・ 国会議事堂 空いているときに活用できそう。
- ・ 職員集会所（外務省、財務省など）代官山などの一等地にある豪華施設。単なる売却より儲かるかも。

< 2 > 外国人向けサービス

【参考例】

- ・ 欧米の観光案内所はもっと便利。かつ夏は学生バイト活用で低コスト。

【候補例】（性格上「黒字」にはならないので、実績は利用者数や時間減で計測）

- ・ 入管など（成田の行列解消。地方空港ではチャーター便に合わせ、「入管・税関・検疫」を、各省職員が出張して行うのではなく、地元在住の同一人物が兼務すれば？）
- ・ 観光案内 東京駅構内か駅前に TIC が必要。外郭団体に任せるから有楽町駅前の雑居ビルまで客に足を運ばせて平気なのは？

< 3 > 許認可のアイデア

【参考例】北京や香港には、携帯電話とミニバンを組み合わせた便利なミニバスや白タクがある。

【候補例】「ある地区の交通システム体系」全体を入札してみたらどうか。

（特区や規制緩和の話か？）

< 4 > 付論

・ テスト対象をこうして「官」側が決めるのではなく、すべての行政サービスを対象に入札を実施してみたらどうか？面白いアイデアが出るかもしれないし、選定プロセスも効率化できる

・ 警察、税務署まで含め、「政府の全サービス」を対象に「第二政府」を競争入札できないか？国民は「第一」と「第二」、いずれかの政府を選んで所属し、そのサービスを受ける。

（元アイデア＝SF作家、小松左京氏の「第二日本国誕生」）